

各 位

会 社 名 株 式 会 社 さ い か 屋
代 表 者 名 代表取締役社長 山野井 輝夫
(コード番号 8254 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 常務取締役執行役員 中野 宏治
(TEL. 046-822-8046)

当 社 の 親 会 社 株式会社 AFC - H D アムスライフサイエンス
代 表 者 名 代表取締役会長 浅山 雄彦
(コード番号 2927 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役会長室長 南方 茂穂
(TEL. 054-281-5238)

2024 年8月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異
および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は 2023 年 10 月 13 日に公表致しました 2024 年8月期第2四半期累計期間(2023 年9月1日～2024 年2月 29 日)における連結業績予想および個別業績予想について、本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

またこれに伴い 2024年8月期通期(2023年9月1日～2024 年8月 31 日)の業績予想についても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024 年8月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異について

2024 年8月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異(2023 年9月 1 日～2024 年 2 月 29 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,451	百万円 129	百万円 117	百万円 67	円銭 13.72
実績値(B)	2,641	66	58	48	9.80
増減額(B－A)	190	△62	△58	△18	—
増減率(%)	7.8	△48.5	△50.3	△27.6	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023 年8月期第2四半期)	2,817	45	38	△84	△17.14

2024 年8月期第2四半期累計期間個別業績予想と実績値との差異(2023 年9月 1 日～2024 年 2 月 29 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,451	百万円 130	百万円 118	百万円 68	円銭 13.93
実績値(B)	2,641	69	61	51	10.46
増減額(B－A)	190	△60	△56	△16	—
増減率(%)	7.8	△46.5	△48.1	△23.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023 年8月期第2四半期)	2,813	40	33	△88	△17.86

2. 2024 年8月期通期業績予想の修正について

2024 年8月期通期連結業績予想値の修正 (2023 年9月1日～2024 年8月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,554	百万円 214	百万円 192	百万円 92	円銭 18.67
今回修正予想	4,535	107	89	59	11.90
増減額(B－A)	△19	△107	△103	△33	—
増減率(%)	△0.4	△50.0	△53.6	△35.9	—
(ご参考) 前期実績 (2023 年8月期)	5,204	144	132	9	1.97

2024 年8月期通期個別業績予想値の修正 (2023 年9月1日～2024 年8月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,554	百万円 217	百万円 195	百万円 95	円銭 19.27
今回修正予想	4,535	110	92	62	12.51
増減額(B－A)	△19	△107	△103	△33	—
増減率(%)	△0.4	△49.3	△52.9	△34.7	—
(ご参考) 前期実績 (2023 年8月期)	5,199	139	126	4	0.91

3. 差異及び修正の理由

2024 年8月期第2四半期累計期間の業績予想は、ヤマダデンキが旗艦店藤沢店へ出店した昨年6月の全館オープンによる利益の積み上げに対し、昨年9月より改装工事のため一時閉鎖した横須賀店地下1階の売上減少を見込んでおりましたが、横須賀店における入店客数が当初の想定以上に伸び悩んだことにより、通期の業績予想を下方修正することといたしました。

(売上高に関しましては当初の予想よりも増額となっておりますが、これは当初手数料収入として見込んでいた金地金の買取額を総額売上としたことにより、当初の予想を上回っております。)

しかしながら、営業利益においては対前年比で 45%の増益となっており、前会計年度で9期ぶりの黒字を達成した勢いは維持できております。

通期の業績予想においても、第2四半期累計期間の影響を織り込んだことに加え、今秋の食品スーパー「ライフ」出店に向けた改装工事に伴う藤沢店地下1階の一時閉鎖による売上減少を見込んだ結果、上記の予想値といたしましたが、通期連結業績といたしましては対前年比で親会社株主に帰属する当期純利益 50 百万円の増益を予想しております。

なお、横須賀店地下1階に食品スーパー「ヨークフーズ」がオープンした3月 20 日以降、入店客数とともに、既存売場の売上増加にも繋がっており、百貨店ゾーンとの相乗効果が得られております。また、藤沢店地下1階においても「ライフ」出店予定である今秋以降は、横須賀店と同様の効果を見込んでおります。

このように、ヤマダデンキの藤沢店出店から始まった業容拡大は順調に推移しており、今後も更なる利益拡大を図るべく、新たなお客様層に喜んでいただける売場作りを推し進めてまいります。加えて親会社である株式会社AFC－HD アムスライフサイエンスとのグループシナジーを活かした事業への投資なども積極的に行い、黒字の常態化に努めてまいります。

以上